

達成指標及び目標値【目指す方向】

1-1 子育て

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
1	出生割合	「出生数(X年)」÷「20歳から39歳までの女性人口(X+1年1月1日時点)」	%	61.82 (R3)	↗	現在、国全体、愛知県全体を下回っていることから、2026年においては、国全体と同水準を目標とする。	「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
2	0～14歳人口/総人口	「0歳から14歳までの人口総人口(X年1月1日時点)」÷「総人口(X年1月1日時点)」	%	11.87 (R3)	↗	国全体に対する割合を4年前程度に戻す。(国全体+0.3%程度)	「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
3	「子育てをしやすいまち」だと思える市民の割合	『子育てをしやすいまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	42.7 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)

1-2 教育

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
4	学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	児童・生徒に対するアンケートで『学校を楽しんでいると感じますか。』の設問に対し、「はい」と回答した児童・生徒の割合	%	91.3 (R3)	→	既に、一定の水準に達したものと考え、維持を目指す。	各課データ
5	保護者の学校教育に対する満足度	保護者に対するアンケートで『学校教育に対して満足していますか。』の設問に対し、「はい」と回答した保護者の割合	%	91.7 (R3)	→	既に、一定の水準に達したものと考え、維持を目指す。	各課データ
6	全国学力・学習状況調査(小学生 国語)	全国学力・学習状況調査(小学校6年生国語)における全国平均と比べた犬山市の正答率	-	やや低い (R3)	ほぼ全国並み	評価の1段階上昇を目指す。	各課データ
7	全国学力・学習状況調査(小学生 算数)	全国学力・学習状況調査(小学校6年生算数)における全国平均と比べた犬山市の正答率	-	ほぼ全国並み (R3)	やや高い	評価の1段階上昇を目指す。	各課データ
8	全国学力・学習状況調査(中学生 国語)	全国学力・学習状況調査(中学校3年生国語)における全国平均と比べた犬山市の正答率	-	やや高い (R3)	ずいぶん高い	評価の1段階上昇を目指す。	各課データ
9	全国学力・学習状況調査(中学生 数学)	全国学力・学習状況調査(中学校3年生数学)における全国平均と比べた犬山市の正答率	-	ずいぶん高い (R3)	ずいぶん高い	評価の維持を目指す。	各課データ

1-3 生涯学習

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
10	図書館で本を借りた人数(実人数)	X年に図書館(市立図書館、楽田ふれあい図書館)で本を借りた人の実人数	人	6,803 (R3)	↗	近年減少傾向となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響前程度の水準を目指す。	各課データ
11	各種講座の参加者数	市民総合大学、公民館講座などの各種講座の延べ参加者数	人	6,038 (R3)	8,900	新型コロナウイルス感染症が収束することを前提に、新型コロナウイルス感染症の影響前程度の水準を目指す。	各課データ(5次総指標)
12	エナジーサポートアリーナ(市体育館)等の利用者数	エナジーサポートアリーナ(メインアリーナ・サブアリーナ、多目的室、多目的スタジオ、親子ふれあいルーム、トレーニングルーム)及び多目的スポーツ広場の利用者数(累計)	人	114,326 (R3)	180,000	新型コロナウイルス感染症が収束することを前提に、新型コロナウイルス感染症の影響前程度の水準を目指す。	各課データ(5次総指標)
13	「生涯学習活動が盛んなまち」だと思える市民の割合	『生涯学習活動が盛んなまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	31.3 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)
14	「スポーツする環境が整ったまち」だと思える市民の割合	『スポーツする環境が整ったまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	39.1 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)

1-4 歴史文化

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
15	市民総合大学（歴史文化学部）への応募者数	市民総合大学「歴史文化学部」への応募者の総数。	人	126 (R3)	↗	新型コロナウイルス感染症が収束することを前提に、現状値からの増加を目指す。	各課データ（5次総指標）
16	歴史文化施設の自主活動事業	歴史文化施設を会場とした市民団体などの自主的な活動の実施回数。	回	72 (R3)	↗	市民団体等による関連イベント等の開催を支援し、現状よりもさらなる増加を目指す。	各課データ（5次総指標）
17	「歴史を大切にし、文化財が保存活用されたまち」だと思う市民の割合	『歴史を大切にし、文化財が保存活用されたまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	81.2 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)

1-5 健康・福祉

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
18	健康寿命①男性②女性（独自算定）	「健康寿命算定プログラム」に「人口（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数）」「出生数（愛知県衛生年報）」「不健康分子＝3月末時点の要介護2～5に認定者数（各課データ）」をあてはめて独自算出	歳	①81.00 ②85.50 (R2)	↗	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加を目指す。	独自計算（※）
19	生活習慣病による死亡率（人口1000人当たり）	生活習慣病を死因とする死亡者数（X年）÷死亡数（X年）	%	46.82 (R2)	↘	近年、愛知県全体よりも低い水準を維持していることから、今後も愛知県全体よりも低い水準を目指す。	「人口動態調査」「愛知県保健衛生年報」「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
20	就労支援（移行、A型、B型）事業の利用者数（実人数）	就労支援（移行、A型、B型）事業の利用者数（実人数）	人	295 (R3)	→	障害者に就労の機会を提供しつつ、一般就労への移行も促していくことから、利用者数としては、現状値の維持を目指す。	各課データ
21	要介護3～5の認定率	介護保険1号被保険者のうち、要介護3～5の認定を受けている人の割合	%	4.69 (R3暫定)	→	近年、増加傾向となっていることから、増加の抑制を目指す。	「介護保険事業状況報告」

2-1 農業

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
22	認定農業者数	認定農業者の数。	人	16 (R3)	↗	近年、横ばいで推移しているが、少しでも増加させることを目指す。	「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」「各課データ」
23	農用地内耕作放棄地の面積	農用地内耕作放棄地の面積。	ha	6.7 (R3)	↘	2020年度から2021年度にかけて減少（改善）しており、引き続き耕作放棄地の増加要因はあるものの、今後も減少を目指す。	各課データ（5次総指標）

2-2 商工業

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
24	産業集積誘導エリアにおける企業立地数	産業集積誘導エリアに立地した製造業の企業数	-	5 (H29～R3)	4 (R5～R8)	年1件程度の新規立地を目指す。	各課データ
25	製造品出荷額等	工業統計調査の製造品出荷額等	百万円	487,776 (R1)	↗	今後も増加を目指す。	工業統計調査（経済センサス）

2-3 観光

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
26	宿泊客数	犬山市内宿泊者数（一部）	人	50,956 (R3)	162,627	観光戦略の目標値2031年度を実現するための2026年度における目安値。	各課データ
27	観光入込客数	市内の主要な観光施設（一部有料施設）への観光客数の合計	人	1,460,188 (R3)	2,600,000	新型コロナウイルス感染症が収束することを前提に、新型コロナウイルス感染症の影響前程度の水準を目指す。（総合戦略では272万人（R6））	各課データ
28	日帰り消費額	犬山市内を訪問した観光客（日帰り）が市内で消費した金額	円/人	3,846 (R1)	4,295	観光戦略の目標値2031年度を実現するための2026年度における目安値。	各課データ (グラフなし)
29	宿泊消費額	犬山市内を訪問した観光客（宿泊）が市内で消費した金額	円/人	15,130 (R1)	19,543	観光戦略の目標値2031年度を実現するための2026年度における目安値。	各課データ (グラフなし)

3-1 住環境・インフラ

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
30	住宅着工戸数	住宅着工統計の住宅着工戸数	戸	391 (R1)	↗	近年、減少傾向にあるものの移住定住を促進し、現状値よりも増加を目指す。	「住宅着工統計」
31	商業集積ラインにおける新規立地件数	商業集積ラインにおける商業系店舗の立地件数	件	7 (H29~R3)	4 (R5~R8)	年に1件程度の新規立地を目指す。	各課データ
32	「市内での買い物が便利なまち」だと思ふ市民の割合	『市内での買い物が便利なまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	28.3 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)
33	「住環境が整備されたまち」だと思ふ市民の割合	『住環境が整備されたまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	40.1 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)
34	「道路や橋などのインフラが適切に管理されたまち」だと思ふ市民の割合	『道路や橋などのインフラが適切に管理されたまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	35.1 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)
35	「公共交通が便利なまち」だと思ふ市民の割合	『公共交通が便利なまちだと思いますか。』という設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合	%	34.7 (R3)	↗	暦年の推移がないことから増加を目指すこととする。	市民意識調査 (R3のみ=グラフなし)

3-2 安全・安心

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
36	人口10000人当たり火災発生件数	「火災発生件数(X年)」÷「総人口(X年12月末時点)」	件	2.18 (R3)	↘	近年、国全体、愛知県全体よりも低い数値で推移していることから、今後も国、県に対して同水準の維持を目指す。	「消防統計」「愛知県消防年報」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
37	自主防災組織設立町内会数	-		277 (R3)	↗	近年、ほぼ同数で推移していることから少しでも上昇させることを目指す。	各課データ(5次総指標)
38	人口1000人当たり刑法犯認知件数	「刑法犯認知件数(X年)」÷「総人口(X年12月末時点)」	件	3.38 (R2)	↘	近年、国全体、愛知県全体よりも低い数値で推移していることから、今後も国、県に対して同水準の維持を目指す。	「犯罪統計」「犯罪統計書」「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
39	人口1000人当たり交通事故発生件数	「交通事故発生件数(X年)」÷「総人口(X年12月末時点)」	件	2.17 (R3)	↘	近年、国全体、愛知県全体よりも低い数値で推移していることから、今後も国、県に対して同水準の維持を目指す。	「道路の交通に関する統計」「愛知県統計年鑑」「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
40	収容所要時間(平均)	救急自動車による、救急要請の通報を受けてから病院収容までの所要時間	分	28.8 (R2)	↘	近年、国全体、愛知県全体よりも低い数値で推移していることから、今後も国、県に対して同水準の維持を目指す。	「救急・救助の現況」「愛知県消防年報」「救急業務のあり方に関する検討会資料」
41	安全・安心を実感し、心豊かに暮らしている市民の割合	『安全・安心を実感し、心豊かに暮らしていますか。』という設問に対し、「はい」と回答した市民の割合	%	82.4 (R3)	↗	近年増加傾向にあるが、まだ増加の余地はありと判断し、更なる増加を目指す。	市民意識調査(5次総 まちづくり指標)

3-3 低炭素・循環型・自然共生

番号	指標	説明	単位	現状値 (時点)	2026目標値 [目指す方向]	目標値[目指す方向]設定の考え方	出典
42	温室効果ガス(CO2)排出量	市域から排出される温室効果ガス排出量(独自算定)	千t-CO2	597 (H30)	↘	2030年目標量(492千t-CO2)に向けて減少を目指す。	各課データ
43	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	(「ごみの総排出量」-「事業系ごみ収集量」-「生活系資源ごみ量」-「集団回収量」)÷(「人口」×365)	g/人・日	478 (R2)	↘	近年、微増傾向にあるが、今後は減少を目指す。	「一般廃棄物処理事業実態調査」
44	リサイクル率	「総資源化量」÷(「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「集団回収量」)	%	19.5 (R2)	↗	近年、微減傾向にあるが、今後は増加を目指す。	「一般廃棄物処理調査」「一般廃棄物処理事業実態調査」
45	自然環境が、大切に保全されていると感じている市民の割合	『犬山市の自然環境は大切に保全されていると思いますか。』という設問に対し、「はい」と回答した市民の割合	%	72.8 (R3)	↗	近年増加傾向にあるが、まだ増加の余地はありと判断し、更なる増加を目指す。	市民意識調査(5次総指標)